

株式会社 サンセイ・イサワ

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年7月～2024年6月)



発行日: 2024年9月30日

目 次

	ページ
1. 環境経営方針	3
2. 組織の概要	4
3. 認証・登録の対象組織	4
4. 実施体制図及び役割・責任・権限表	5
5. 2023年度の環境目標に対する活動結果	6
6. 2023年度の環境活動の取組計画と評価	7
7. 次年度の環境目標と環境活動計画	9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果 並びに違反・訴訟等の有無	10
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	10
10. 環境活動の紹介と活動風景	11

1. 環境経営方針

企業活動には「技術・品質・コスト」は非常に大事なものでありますが、人間が子々孫々と命を繋ぐには「環境・資源」は欠くことのできないものです。よって、我々は環境活動を第一に考え、高品質で安全・安心な製品をお届けし、社会に少しでも貢献できる企業を目指し日々邁進してまいりますので宜しくご支援をお願い申し上げます。



環境経営方針

基本理念

株式会社サンセイ・イサワは、理を持って汗する企業活動により、時代の要求する技術・サービスを学び、顧客に提供し、共に発展向上する事を経営方針として掲げております。

よって、生活の基盤である自然環境についても金型部品・機械部品等の生産を通して地球温暖化を軽減し、生態系の保護を重視した生産活動を目指します。

また「SDGs」に謳われた17項目の持続可能な開発目標の達成を目指し生産活動をしてまいります。

基本方針

1. 環境に関連する法規制・条例や当社が約束したことを遵守いたします。
2. 材料使用量と不良件数を監視し、材料の有効活用と不良削減に努め、顧客との約束納期の精度をさらに上げ、顧客の信頼向上に努めます。
3. 地球温暖化の要因である二酸化炭素排出量を監視し、削減に努力いたします。
4. 弊社が使用する材料・生産材のREDUCE・REUSE・RECYCLE活動を実施し、常に廃棄物の削減に努めます。
また、十分に環境負荷削減に配慮されたものを使用いたします。
5. 水使用量を監視し、その削減に努力いたします。
6. 環境活動は、定期的に見直し継続的に改善いたします。
7. 環境経営方針を全社員に周知すると共に、一般に公開し、地域社会に貢献してまいります。

株式会社サンセイ・イサワ
代表取締役社長 安倍 由和

制定年月日 平成27年 9月 1日(初版)
改定年月日 令和 6年 8月 2日(最新)

2. 組織の概要

- ◇ 名称及び代表者名
株式会社 サンセイ・イサワ
代表取締役社長 安倍 由和
- ◇ 所在地
岩手県奥州市胆沢小山字中油地119



- ◇ 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 研削1係 佐々木 冬樹 TEL:0197-47-2020
FAX:0197-47-2041
E-mail:s-isawa@sansei.com
- ◇ 事業内容
金型部品の製造 主要製品:パンチ、ダイ、治工具
- ◇ 事業の規模
製品出荷額 5.2億円
- 従業員 47名
延べ床面積 2288㎡
- ◇ 活動事業年度 2023年7月 ～ 2024年6月

3. 認証・登録の対象組織

認証登録範囲 全組織・全範囲

活動: 金型部品の製造

(加工製品)



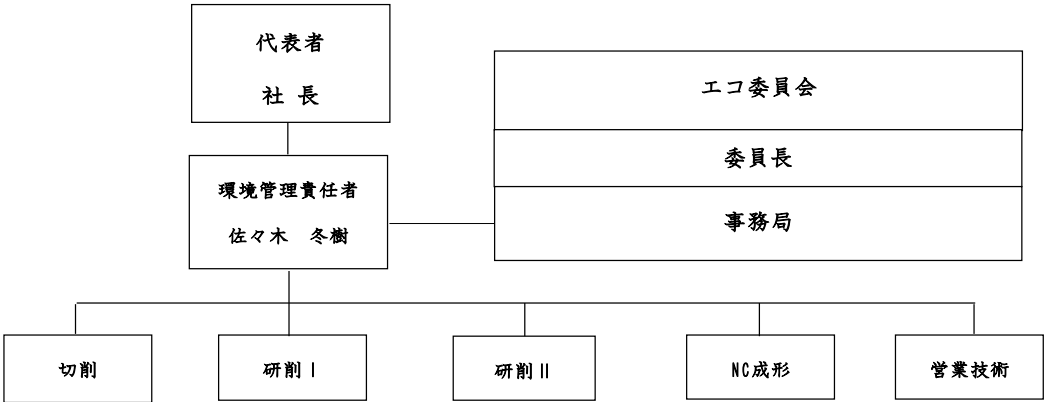
(非金属)



(金型部品)

4. 実施体制図及び役割・責任・権限表

株式会社 サンセイ・イサワ 実施体制図及び役割・責任・権限表

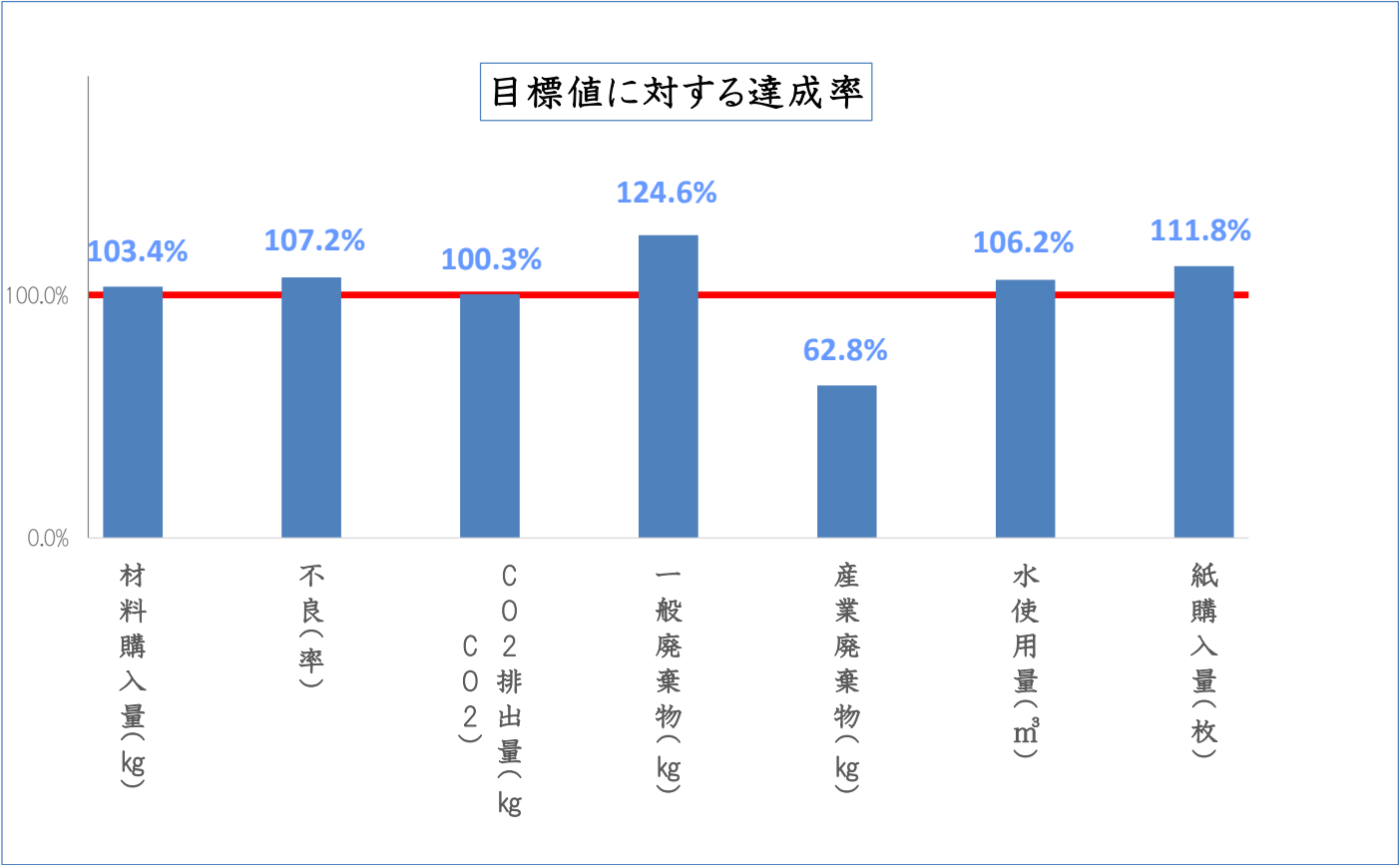


	役割・責任
代表者(社長)	・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・及び全従業員への周知 ・効果的な実施体制の構築 ・環境経営目標・環境活動計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの承認
エコ委員会	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組み自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境活動計画書の原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付) ・環境活動計画の審議 ・環境活動実績の確認、評価
部門責任者	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 2023年度の環境目標に対する活動結果

		2023年度 上段: 通年			2024年度 上段: 通年		2025年度 上段: 通年	
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)
		基準年度	基準年度比	達成率	基準年度比	達成率	基準年度比	達成率
材料購入量の削減	kg	14,154	14,140	13,673	14,126		14,112	
		2022年	-0.1%	103.4%	-0.2%		-0.3%	
不良の削減	不良率(月60件)	3.71%	3.71%	3.46%	792		3.40%	
		2022年	(1ヵ月60件)	107.2%	(1ヵ月60件)		(1ヵ月60件)	
電力のCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	221,309	221,088	220,322	220,866		220,645	
		2022年	-0.1%	100.3%	-0.2%		-0.3%	
* 合計二酸化炭素発生量	kgCO ₂		—	238,218	—		—	
一般廃棄物の削減	kg	2,072	2,070	1,661	2,072		2,072	
		2022年	-0.1%	124.6%	0.0%		0.0%	
産業廃棄物の削減	kg	365	365	581	580		579	
		2022年	-0.1%	62.8%	-0.2%		-0.3%	
水使用量の削減	m ³	598	598	563	598		598	
		2022年	0.0%	106.2%	0.0%		0.0%	
紙購入量の削減	枚	540,000	539,460	482,500	540,000		540,000	
		2022年	-0.1%	111.8%	0.0%		0.0%	

※2024年度からの産廃の
基準値は2023年のデータに
2023年の油付きウエスの平
均を足した値



6. 2023年度の環境活動の取組計画と評価

◎よくできた ○ややできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画(達成手段)	達成状況	評価
材料購入量の削減		
端材の再利用	○	出来るものに関してはしている
予備加工の指示の徹底	○	以前に比べ削減できていると思う
リポート品の工程の再検討(詳細を指示する)	○	概ね達成できたが、適切な指示を追加し、更に削減できるようにする
不良の削減		
不良対策会議による対策の実行	△	会議は行っているが、対策を実行できていない
作業手順書の確認と見直し	△	あまり確認しているようではないと思われるので、確認をしてもらうようにする
不良件数の表示	◎	しっかり表示できている
品質委員会にて不良内容の精査して削減する	○	品質委員会が各部署の不良対策会議に参加し、対策案を練っている
電力の二酸化炭素排出量の削減		
扇風機やシーリングファン等で空気を循環させ工場内温度の適正化	○	扇風機を購入し空気を循環させている
エアコンのフィルター清掃、室外機の冷却対策(夏場)	◎	清掃、冷却対策ともにできている
すだれ(夏場)や断熱シート(冬場)の設置による室内の温度管理	○	必要な場所を選定し、設置に取り組む
不使用室の電灯、エアコンOFF	○	概ね達成できた
固定電力と変動電量の把握	○	把握できた
LED照明の設置	○	工場内は設置できた
一般廃棄物の削減		
紙コップの削減の推進	○	一定の成果が出ている
古紙再資源の分別回収	◎	分別して回収できている
梱包材と緩衝材への再利用	○	利用は出来ているが更に進めていきたい
切削の廃棄ウエスの計量の周知	○	概ね達成できた

◎よくできた ○ややできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画(達成手段)	達成状況	
<u>産業廃棄物の削減</u>		
廃棄物の見える化の推進(量・金額・委託先等)	△	廃棄物の内容の把握が不十分だった
製造工程から排出される金属屑の分別による再資源化と有価化	◎	回収業者が変わったことにより金属屑の分別を始めた
廃棄物処理業者の適正管理	○	処理業者の現地審査を行った
廃棄物の内容の見直し	△	廃棄物の内容の把握が不十分だった
<u>節水</u>		
設備管理の徹底	○	管理できている
<u>コピー用紙使用量の削減</u>		
社内文書の裏紙使用の徹底(掲示物・回覧・控え書類等)	◎	出来ている
ペーパーレス化の推進(FAXや書面郵送を控えメールやPDFの活用)	△	まだまだ出来ていないところがあるので、対策を検討する
A4一枚ベスト運動の社内浸透	△	社内に浸透していなので呼びかけていく
<u>社会貢献</u>		
SDGsの勉強ならびに活動	○	活動しているが、SDGsへの理解を深めていく必要がある
針無しホチキスの導入	×	導入を考える
会社周辺の年2回の清掃	◎	実施している
ペットボトルキャップ回収による社会貢献	◎	回収し社会貢献できている

7. 次年度の環境目標と環境活動計画

項目	基準値(2022年度実績)	目標	2024年度の活動計画
材料購入量の削減	14,154 kg	14,126 kg 基準値より -0.2%	・端材の再利用 ・リピータ品の工程の再検討(詳細を指示する)
不良の削減	3.71 %	1ヵ月60件 ※2021年度より件数にて集計	・不良対策会議を月1回実行する ・作業手順書の確認と見直し ・不良件数の表示 ・品質委員会で不良内容を精査して削減する
電力のCO ₂ 排出量の削減	221,309 kg - CO ₂	220,866 kg - CO ₂ 基準値より -0.2%	・扇風機やシーリングファン等で空気を循環させ工場内温度の適正化 ・エアコンのフィルター清掃、室外機の冷却対策(夏場) ・すだれ(夏場)の設置による室内の温度管理 ・固定電力の削減
一般廃棄物の削減	2,072 kg	2,072 kg 基準値より 0.0%	・昼休憩の紙コップ使用の削減の推進 ・古紙の100%回収
産業廃棄物の削減	581 kg	580 kg 基準値より -0.2%	・廃棄物の見える化の推進(量、金額、委託先等) ・製造工程から排出させる金属屑の分別による再資源化と有価化 ・油付きウエスの廃棄量の削減
水使用量の削減	598 m ³	598 m ³ 基準値より 0.0%	・設備管理の徹底
紙購入量の削減	540,000 枚	540,000 枚 基準値より 0.0%	・社内文書の裏紙使用の徹底(掲示物、回覧、控え書類等) ・ペーパーレス化の推進(FAXや書類郵送を控えメールやPDFの活用) ・A4一枚ベスト運動の社内浸透
社会貢献	2 回	2 回 基準値より	・会社周辺の年2回の清掃 ・SDGsの勉強ならびに活動 ・ペットボトルキャップ回収による社会貢献

※産廃の基準値は2023年のデータに2023年の油付きウエスの平均を足した値

※社会貢献の基準値は2023年の会社周辺の年2回の清掃

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

- ・環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
- ・違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。
- ・環境コミュニケーションにおいても外部・内部から問題になる事案の報告はありませんでした。

主な環境関連法規制は下記の通りである。

No.	適用される関係法令	条項	要求事項	遵守
1	廃掃法	第12条5項	産業廃棄物は許可業者へ委託	○
2		第12条の3	産業廃棄物管理票交付状況報告	○
3	フロン排出抑制法	第16条	第1種特定製品の簡易点検実施	○
4	高圧ガス保安法	第5条2項	第2種製造者製造開始届	○
5	奥州・金ヶ崎火災予防条例	第46条	少量危険物設置届	○

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

・統括

毎年気温が高くなり、35℃を超える日も日本全国いたる所で発生している状況になってきています。まさに地球温暖化が加速度的に進んでいるのではないかとされる近頃で、エコアクション21の活動はますます大事な活動に位置付けられてきていると思います。

岩手県内では、ISO14000・エコアクション21などの「環境活動」に取り組む企業は、企業全体の10%位と言われておりますので、我々の活動が「地球温暖化抑止」にどこまで効果があるのかは分かりづらいところではありますが、「千里の道も一歩から」のごとく小さいことの積み重ねが大きな結果を残すことを信じ、毎度の活動を反省し、対策を立て活動し結果を残していきたいと思います。

・次年度への目標

弊社は、エネルギー使用量のほぼ100%が電気である為、生産活動が活発になればなるほど電気の使用量が多くなるのは当然ですが、出来るならば売り上げに対し電気の使用量が削減できるようであれば、地球温暖化抑制にも貢献度が大きいと思われるので、次年度は、これまでの活動に、これらも視野に入れデータの取り方、並びにどのような対策が必要か検討していきたい。

10.環境活動の紹介と活動風景

・外周清掃、外周草刈

年に2回、会社近隣のゴミ拾いと会社周りの側溝の清掃を実施し、空き缶など多くのゴミを回収しました。草刈りを定期的に行い会社周辺の美化に努めております。



・植栽、グリーンカーテン

グリーンカーテンの栽培、季節に応じた草花の栽培を実施しました。昨年度の経験を生かし少しずつ上手に育てていきたいと思ひます。



・消火訓練、油漏れ対策訓練

年1回の消火訓練、油漏れ対応訓練を行い緊急時に適切な対応が出来るよう取り組んでいます。



・環境教育

年度初めに全体朝礼で社員への達成結果や本年度の目標の周知と新入社員に当社の環境への取り組みについて理解を深める為に教育を実施しています。



・社会貢献

ペットボトルキャップ・プルタブを分別回収し、取引会社を通じ寄付をして社会貢献活動に取り組んでいます。



・分別

鉄屑、リサイクル、産業廃棄物の分別、処分を実施し取り組んでいます。

